

令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

地域の安全安心を確保するための地域警察の強化

推
進
状
況

1 地域の日常生活の安全と平穩の確保

- 事件・事故の発生状況等の地域の実情のほか、地域住民の意見や要望等を踏まえた地域住民に安心感を与える実態に即した警戒・検挙活動を推進しました。
- 職務質問技能指導官等によるロールプレイング教養や現場での同行指導を実施するとともに、動画資料を活用した効果的な教養を推進し、地域警察官の職務質問技能や現場における職務執行能力の更なる向上を図りました。
- 通信指令室が司令塔となり、警察署と本部関係所属が連携した組織的対応を推進することにより、被疑者を早期に検挙する等、被害の拡大防止を図りました。

【事例】

○ 組織的対応による特殊詐欺事件の早期検挙

警察官を騙ったり、息子になりすましてキャッシュカードを窃取する特殊詐欺事件について、事件認知後、迅速に現場臨場し、人員を集中した捜索活動等組織的な初動警察活動を展開した結果、職務質問により、被疑者を検挙しました。

2 地域に即した地域安全活動の推進

- 防犯情報等を地域住民に積極的に発信するとともに、巡回連絡等で把握した相談・要望等を組織的に共有して、迅速・的確な対応に努めました。
- 通学路等における地域住民と協働した子供の安全見守り活動等を推進しました。

3 地域警察の現場執行力の強化

- 装備品の充実や交番等のセキュリティ強化を図るとともに、実際の受傷事故の検証結果等に基づく教養や訓練を実施し、地域警察の強化を図りました。
- 交番オンラインを活用した業務の合理化・効率化に努めたほか、警察機能を最大限に発揮することを目的とした「交番等の最適化」を推進しました。
- 現場執行力を強化するため、具体的事象を想定した実戦的な訓練を推進しました。

【事例】

○ 「交番等の最適化」計画の推進

警察機能を最大限に発揮できるよう、交番の数や配置を計画的に統合、移転及び新設する「交番等の最適化」に取り組んでおり、令和6年度は、5警察署の5交番を廃止、統合し、令和7年度から警ら連絡所として運用することとなりました。

○ 実戦的訓練・警戒等の実施

府下の鉄道事業者と締結した「鉄道利用者の安全確保に関する包括連携協定」に基づき、鉄道施設内における無差別殺傷事件や不審者対応訓練を実施しました。また、鉄道事業者と連携して、痴漢や暴力行為等の追放を目的とした合同警戒を実施しました。



合同警戒実施時の状況

○ 緊急配備訓練の実施

迅速かつ的確な初動警察活動を展開し、部門横断的な連携により被疑者を早期に検挙する目的で、本部関係所属及び警察署による重要事件発生を想定したブラインド形式の緊急配備訓練を実施しました。



緊急配備訓練時の状況

参
考
指
標

【地域警察官による検挙状況】⑳

区分	刑法犯 検挙件数	特別法犯 検挙件数
令和5年	9,329	2,461
令和6年	9,218	2,049
増減	-111 -1.2%	-412 -16.7%

【110番受理状況】㉓、㉔

区分	総受理件数	有効通報件数	非有効通報件数
	1日平均	1日平均	1日平均
令和5年	1,183,540 3,243	896,128 2,455	287,412 788
令和6年	1,147,917 3,136	916,305 2,504	231,612 632
増減	-35,623 -107	+20,177 +49	-55,800 -156

注：各指標に記載の㉓～㉔は、別添に掲示の【参考指標の推移Ⅱ】の番号を示す。